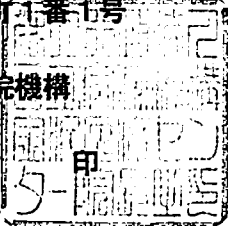


(様式例第11)

金医発事第508号
平成26年10月3日

石川県知事 殿

申請者 住 所 石川県金沢市下石引町1番1号
 氏 名 独立行政法人国立病院機構
 金沢医療センター
 院長 鶴浦 雅志



独立行政法人国立病院機構金沢医療センターの地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成25年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒152-8621 東京都目黒区東が丘2-5-21
氏名	独立行政法人国立病院機構

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター

3 所在の場所

〒920-8650
 石川県金沢市下石引町1番1号 電話 (076) 262 - 4161

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
42 床	0 床	0 床	0 床	542 床	584 床

(※一般601床、精神48床 合計649床をH26.8.1 一般542床(△59床)、精神42床(△6床) 合計584床(△65床)に変更)



5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	病床数 10 床 (主な設備) 救急蘇生装置、除細動器、ペースメーカー、心電計、ポータブルX線撮影装置、呼吸循環監視装置
化学検査室	(主な設備) 全自動血球分析装置、免疫化学分析装置、自動蛍光光度計、自動電気泳動装置、血液ガス分析装置、自動グリコヘモグロビン分析計、自動分析装置
細菌検査室	(主な設備) 全自動細菌検査システム
病理検査室	(主な設備) 自動組織処理装置、組織標本自動染色装置、滑走式マイクローム、超低温フリーザー
病理解剖室	(主な設備) 解剖実験台
研究室	(主な設備) 細胞障害性リンパ球測定器、組織酸素モニター、末梢循環診断装置、近赤外線酸素モニター、電気泳動装置、サーマルサイクラー、磁気刺激装置
講義室	室数 2 室 収容定員 70 人
図書室	室数 1 室 蔵書数 8,000 冊程度 Medline等文献データベース有
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 人工呼吸器、モニター、除細動器 保有台数 1 台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 39.88 m ² [共用室の場合] 室と共用

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	60.7 %	算定期間	平成 25 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日
地域医療支援病院逆紹介率	63.6 %		
算出根拠	A : 紹介患者の数		8,342 人
	B : 初診患者の数		13,880 人
	C : 逆紹介患者の数		8,831 人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

地域医療支援病院紹介率	60.8 %	算定期間	平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 6 月 30 日
地域医療支援病院逆紹介率	70.6 %		
算出根拠	A : 紹介患者の数		1,964 人
	B : 初診患者の数		3,226 人
	C : 逆紹介患者の数		2,280 人

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況
別紙1のとおり

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	— 床
専用病床	10 床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
ICU(6床)	98.87㎡	(主な設備) 救急蘇生装置、除細動器、ペースメーカー、心電計、ポータブルX線撮影装置、呼吸循環監視装置、電解質定量検査装置、血液ガス分析装置	可
CCU(4床)	81.91㎡	(主な設備) 救急蘇生装置、除細動器、ペースメーカー、心電計、ポータブルX線撮影装置、呼吸循環監視装置、電解質定量検査装置、血液ガス分析装置	可
放射線部門	2,045.98㎡	(主な設備) MRI装置、CT装置2式、ガンマカメラ、シンチレーションカメラ、リニアック、放射線治療計画装置、血管連続撮影装置、ホールボディーカウンター、体表面モニター、核種分析装置(γ線、α線)、小線源装置、X線撮影装置、X線テレビ装置、断層撮影装置、CRシステム	可
臨床検査部門	2,371.31㎡	(主な設備) 全自動血球分析装置、免疫化学分析装置、自動炎光光度計、自動電気泳動装置、血液ガス分析装置、自動グリコヘモグロビン分析計、自動分析装置、全自動細菌検査システム、脳波計、超音波診断装置、トレッドミル、肺機能測定システム、長時間心電図記録解析装置、	可

4 備考

病院群輪番制病院、救急告示病院、周産期母子医療センター、小児救急、災害拠点病院（大規模・原子力災害）、エイズ治療拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療研修センター、地域医療支援病院、開放型病床（20床）、病院機能評価（Ver6.0）、血液透析、新生児医療、臓器移植施設（腎臓）、臨床研究部、初期臨床研修指定病院、外国人医師・歯科医師臨床修練指定病院

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。

既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	2,657 人 (1,451 人)
上記以外の救急患者の数	8,552 人 (1,210 人)
合計	11,209 人 (2,661 人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1 台
---------------	-----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

医療機関延べ数	13
上記のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	13
共同利用に係る病床の病床利用率	80.8%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

病床数	20床
建物	建物の全部
医療機器	CT、MRI、その他

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 有 ・ 無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名：伊勢 拓之

職種：医師（地域医療連携室長）

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。
当該規定・・・別紙2（施設・設備等の共同利用に関する規程）のとおり

4 登録医療機関の名簿

別紙3（登録医名簿）のとおり

常時共同利用可能な病床数	20床
--------------	-----

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

脳心血管疾患カンファランス (6回実施) 開放病床症例検討会 (6回実施) 皮膚科臨床組織検討会 (6回実施) 石川県整形外科臨床研究会 (8回実施) 緩和ケア研修会 (H25. 7. 14~15実施) がんセミナー (11回実施)

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	38 回
(2) (1) の合計研修者数	1, 275 人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 ・無
 イ 研修委員会設置の有無 ・無
 ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
池田 清延	医師	脳神経外科	副院長	38 年	
越田 潔	医師	泌尿器科	統括診療部長	34 年	
阪上 学	医師	循環器科	臨床研究部長	28 年	
斎藤 泰雄	医師	放射線科	がん診療部第一部長	39 年	
太田 和秀	医師	小児科	教育研修部長	30 年	教育責任者

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
第1研修室	114.61 m ²	放送設備、スクリーン、プロジェクター機、椅子
第2研修室	64.14 m ²	机、椅子
大会議室	109.26 m ²	放送設備、スクリーン、机、椅子
小会議室	55.28 m ²	机、椅子
講堂	263.74 m ²	放送設備、スクリーン、プロジェクター機、椅子

第1会議室	27.98 m ²	机、椅子
第2会議室	23.07 m ²	机、椅子

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院長 鶴浦 雅志
管理担当者氏名	管理課長 渡辺 進 医療情報管理係長 中島 賢二郎

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 ・病院日誌、各科診療日誌、 ・処方せん、 ・手術記録、紹介状 ・看護記録、検査所見記録、エックス線写真、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		管理課 薬剤科 医療情報管理室 医療情報管理室	年度別 年度別 患者ID別 患者ID別
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	
	救急医療の提供の実績	企画課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	管理課	
	閲覧実績	管理課	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	事務部長 上野 茂
閲覧担当者氏名	管理課長 渡辺 進
閲覧の求めに応じる場所	診療：企画課 病院の管理及び運営に関する諸記録：管理課
<p>閲覧の手続の概要</p> <p>○診療</p> <p>開示申請書の提出 → 病院 → 委員会 → 開示決定 → 開示実施（閲覧・写の交付等）</p> <p style="margin-left: 200px;">└─ 不開示決定</p> <p>※診療録等開示規程等に基づく</p> <p>○病院の管理及び運営に関する諸記録</p> <p>情報開示書の提出 → 病院 → 委員会 → 開示決定 → 開示の実施（閲覧・写の交付等）</p> <p style="margin-left: 200px;">└─ 不開示決定</p> <p>※国立病院機構情報公開手続規程に基づく</p>	

前年度の総閲覧件数	0 件	
閲覧者別	医師	0 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	0 件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数		4 回
委員会における議論の概要		
第1回	開催日	平成25年6月5日(水)
	出席者	院長、副院長、統括診療部長、地域医療連携室長、看護部長、事務部長 石川県医療対策課長、金沢市健康総務課長、金沢市医師会長、 白山ののいち医師会長、河北郡市医師会長、金沢市歯科医師会長、 河北歯科医師会長、白山野々市歯科医師会地区幹事、弁護士2名
	議題	・委員の交代について ・平成24年度活動内容報告 紹介率・逆紹介率の実績、地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修会・症例検討会・研究会の実績、開放病床の利用実績、救急患者の受入実績、医療機器共同利用件数、医療相談件数、在宅支援状況、その他
第2回	開催日	平成25年9月20日(金)
	出席者	院長、副院長、統括診療部長、地域医療連携室長、看護部長、事務部長 石川県医療対策課長、金沢市健康総務課長、金沢市医師会長、 白山ののいち医師会長、河北郡市医師会長、金沢市歯科医師会長、 河北歯科医師会長、白山野々市歯科医師会地区幹事、弁護士2名
	議題	・委員の交代について ・平成25年度活動内容報告(平成25年8月実績まで) 紹介率・逆紹介率の実績、地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修会・症例検討会・研究会の実績、開放病床の利用実績、救急患者の受入実績、医療機器共同利用件数、医療相談件数、在宅支援状況、その他
第3回	開催日	平成25年12月3日(火)
	出席者	院長、副院長、統括診療部長、地域医療連携室長、看護部長、事務部長 石川県医療対策課長、金沢市健康総務課長、金沢市医師会長、 白山ののいち医師会長、河北郡市医師会長、金沢市歯科医師会長、 河北歯科医師会長、白山野々市歯科医師会地区幹事、弁護士2名

	議題	・平成25年度上半期活動内容報告（平成25年10月実績まで） 紹介率・逆紹介率の実績、地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修会・症例検討会・研究会の実績、開放病床の利用実績、救急患者の受入実績、医療機器共同利用件数、医療相談件数、在宅支援状況、その他
第4回	開催日	平成26年3月5日（水）
	出席者	院長、副院長、統括診療部長、地域医療連携室長、看護部長、事務部長 石川県医療対策課長、金沢市健康総務課長、金沢市医師会長、 白山ののいち医師会長、河北郡市医師会長、金沢市歯科医師会長、 河北歯科医師会長、白山野々市歯科医師会地区幹事、弁護士2名
	議題	・平成25年度活動内容報告（平成26年1月実績まで） 紹介率・逆紹介率の実績、地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修会・症例検討会・研究会の実績、開放病床の利用実績、救急患者の受入実績、医療機器共同利用件数、医療相談件数、在宅支援状況、その他

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	医療福祉相談室、がん相談支援センター、地域医療連携室、 医療安全管理室、医療相談窓口
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療福祉相談室 医療ソーシャルワーカー ・がん相談支援センター 看護師（がん相談支援担当） 社会保険労務士 ・地域医療連携室 看護師長（地域医療連携係長） ・医療安全管理室 看護師長（医療安全管理者） ・医療相談窓口 専門職
患者相談件数	14,347 件
患者相談の概要	
心理・社会的問題、退院支援、受診・受療、経済的問題、家族への支援、社会復帰支援、がん相談、がん患者及びその家族の就労に関する相談、セカンドオピニオン、医療安全	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。